



菊池川流域

米作り、二千年にわたる大地の記憶

シリーズ日本遺産 ②③ 菊池川流域「今昔『水稻』物語」

問い合わせ先
生涯学習課
社会教育係

☎ 0968(25)7232



菊池川 日本遺産

検索

日本有数の米どころ

大坂堂島の米相場を左右

江戸時代に貨幣経済が発展していく中で、享保15(1739)年には大坂に堂島米会所が開設されました。ここでは全国各地から年貢米が集まり、米切手を売買すること、米をお金に換えるシステムも誕生しています。堂島では、選ばれた産地の銘柄米を基準として米取引が行われました。「立物米」と呼ばれるこの基準米は、品質はもちろん、安定した供給量などを選考基準とし、売買人の投票で選定されていました。主に選ばれたのは、肥後、加賀、筑前、中国(山口)、広島産の米で、これら産地は競うようにして品質向上と安定した生産に励みました。その中でも、徹底した検査や管理で高

菊池川流域産の米

菊池川流域の稲作(干拓地)

品質を誇った肥後米はトップクラスの評価で、菊池川流域産の米は「高瀬口と申すは一番」と言われるまでになり、全国の米相場を左右しました。明治時代になり、地租改正で米から現金を納める税制に変わっても、米作りは続けられました。近代化の中で人口増も進み、日本全体で米作りがますます盛んになっていきます。

受け継がれる米文化の歴史

戦後の高度経済成長期、ころからは、食の欧米化により国内の米の消費量が低下し、生産量の調整が始まりました。それに伴い、より一層米のおいしさが追及されるようになります。昭和40年代には良質な米づくりの推進と米の消費拡大を目指して、日本穀物検定協会が食味試験を開催するようになり、平成元年度には

「特A」のランクを設置しました。その中でも、菊池川流域を含む熊本県城北(県北)地区産ヒノヒカリは平成20年度から11年連続で「特A」の評価を獲得しています。日本有数の米どころとして歴史を積み重ねてきた菊池川流域は、今でも全国的に評価されているおいしい米の生産地です。

二千年にわたる米作り文化は、日本の社会・文化そのものを形成し、現在まで継承されてきました。菊池川流域はその歴史が凝縮され、体感できる地域です。この地に残る米文化と歴史が未永く受け継がれ、発展することを願ってやみません。

平成29年9月から23回にわたり、菊池川流域の市町がりー形式で連載したシリーズ日本遺産は今回が最終回です。ご愛読ありがとうございます。(担当:玉名市文化課)

イベント情報

大野下雨乞い奴踊り

玉名市岱明町大野下で古くから行われている雨乞い神事で、奴姿の数十人が天を突き、地を踏み固めて奉納します。

とき 7月28日(日)

ところ 大野下八幡宮

問い合わせ先 玉名市文化課

☎ 0968(25)1136

住吉日吉神社川祭り・雨乞太鼓

午前中に川の平穏を願う「川祭り」を、午後からは降雨を願う「雨乞太鼓」を奉納し、1年間の豊作を祈願します。雨や川などの自然と向き合いながら営まれてきた民俗行事です。

とき 7月21日(日)

ところ 住吉日吉神社

問い合わせ先

菊池市生涯学習課

☎ 0968(25)7232

Japan Heritage